

2012年6月8日

新CFPプログラム用CO₂換算量共通原単位データベースの OPPフィルム及びCPPフィルムのGHG排出量掲載について

日本ポリプロピレンフィルム工業会
技術委員会

1. 当工業会フィルムのCO₂排出量算出の経緯

私達が、購入、消費している全ての商品・サービスは、製造～廃棄までの一生を通して多くのエネルギーを必要とします。そのエネルギーは、主に石油や石炭、天然ガスなど化石燃料から得られ、地球温暖化の原因となるCO₂を大気中に排出します。「カーボンフットプリント」とは、地球温暖化の原因と推定されている「温室効果ガスの見える化」を目的に、これら商品・サービスのライフサイクルの各過程で排出された「温室効果ガスの量」を合算した結果、得られた全体の量をCO₂量に換算して表示することを言います。

当工業会会員企業のOPPフィルム(延伸ポリプロピレンフィルム)及びCPPフィルム(無延伸ポリプロピレンフィルム)(OPP, CPP以下当フィルム)は、化石燃料を出発物質としたポリプロピレンを主原料として製造しており、その製造工程においてもCO₂を大気中に排出します。当フィルムの多くは印刷、製袋、貼合等で包装材料へと加工されます。

地球温暖化に対する昨今の消費者意識の高まりと共に、包装材料にCO₂排出量の表示等を求める声も大きくなっており、これら要望にお答えするためフィルムのCO₂排出量の見える化、標準化が求められておりました。これに答える形で当工業会では、会員企業のデータを用い、算出し集計したGHG排出量(全ての温室効果ガスをCO₂に換算)をCFP試行事業(当時)事務局である社団法人産業環境管理協会に申請し認可されたものが、下記データベースに2012年版として掲載、標準化されていることをご報告いたします。(2012年4月より(社)産業環境管理協会による新CFPプログラムの民間運営となりました。)

2. データ詳細

データベース名:カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム 基本データベース Ver.1.0

最新掲載: 2012.04

詳細URL: <http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

原単位評価の範囲: 資源の採掘・採取～輸入～原・燃料精製コンビナート～原料モノマー・
原料樹脂製造～成形加工

公開用整理番号	分類	名称	単位	GHG排出量 kg-CO ₂ e/単位
B-JP312023	プラスチック製品	OPPフィルム	kg	2.64
B-JP312022	プラスチック製品	CPPフィルム	kg	2.14

以上

*本DB記載HPは、(社)産業環境管理協会が運営・管理しております。

*なお数値は、エネルギー原単位及びポリプロピレン等のCO₂排出量の変更で予告なく変わることがございます。

*本内容に関するお問い合わせ等は、日本ポリプロピレンフィルム工業会ホームページの問い合わせホームにてお願い致します。